

動画はこちらから→



# 豪雪時の 高齢者世帯対策は 高齢者の住宅見守りを

おくに ひろふみ  
小国 浩文 議員



雪で破損した軒先

**質問** 高齢夫婦世帯や独居高齢者世帯では、豪雪時に屋根の雪下ろしが困難となり、軒先の破損や家屋倒壊等の危険が高まる懸念があります。そのような中、町では国からの災害救助法の適用を受けたわけですが、その適用を受け、町民の屋根の雪下ろし等の支援はどの程度実施され、課題はどの程度解消されたのか、伺います。

さらに、大雪のたびに町道舟形小学校線沿いで大きな落雪が発生していると聞いております。幸い人身・物損事故はないようですが、当該箇所は小学生の通学路でもあります。町として、注意喚起や点検、落雪防止等を含め、安全確保のための具体的な対策をどのよう講じているのか伺います。

また、舟形町では初めてとなる、大雪による災害救助法が2月4日に適用されました。これにより16世帯分の除雪が国庫負担等の対象となり、2月12日までに除雪を完了しています。

最後に、通学路の安全確保対策についてですが、学校においては、日常的に通学路等の安全確認や

**町長** 町では1月29日に豪雪対策本部を設置し、全町的な雪対策にあたりました。地域整備課では、降雪状況を踏まえて、直ちに空き家の所有者または管理者へ屋根の雪下ろし等の適正な維持管理について周知を行い、2月5日には空き家からの落雪や倒壊により周辺に危険を及ぼすものについて、目視による点検を実施しました。教育委員会においても、学校に対して、教職員、児童生徒への通勤通学時の交通安全・交通事故防止に十分注意するよう通知したところでもあります。



大雪のたびに空き家からの落雪がおきる小学生の通学路

←動画はこちらから



かなうち まさき  
叶内 昌樹 議員



街路灯が機能せず暗闇になり不安がよぎる

**質問** クマが「指定管理鳥獣」となり国主導の対策が強化される中、本町でも住宅地付近での目撃が相次ぎ、住民の不安は大きい。特に早朝・夜間の不意の遭遇は重大事故に直結するため、早期発

見と距離の確保が不可欠であります。

**町長** クマ対策は最重要課題と認識しています。まずAIカメラ付きスマートポールについてですが、他自治体の実証実験では、通信不具合など

の技術的課題や、広範囲な設置に費用の問題が浮き彫りとなっております。現時点では全国的に実証段階であり、本町への即時導入は困難であります。

次に、防災無線のメール連携について。現在は緊急性を優先し、設定に時間を要するデジタル放送ではなく、直接音声によるアナログ放送を選択しています。過去にはシステムの不具合でデジタル設定に20分以上要した事例もあり、迅速な現場対応と確実なメール発信の両立が、体制面・システム面で課題となっております。

今後の対策として、まずは運用面を改善します。各課横断的な役割分担を明確化し、現場対応と並



昨年、民家付近の柿の木に登るクマ（一の関）

行して速やかに情報発信が行えるよう手順を見直します。

将来的にはデジタル技術の動向を注視し、費用対効果を検証しながら導入を検討したいと考えています。併せて、住民の皆様には、クマを集落に

近づかせないための藪の刈払いや餌となる物の適切な管理・農地への電気柵の設置など、基本に立ち返った対策の実践を引き続きお願いいたします。

# 街路灯や防災無線の対策強化を 運用面を改善する